

《2024》 音楽 I シラバス

科目名	芸術（音楽 I）	単位数	2 単位	実施予定授業数	70 時間
-----	----------	-----	------	---------	-------

☆学習の到達目標

学習の 到達目標	<p>表現の分野では、独唱曲や合唱曲により歌唱力を身につけ、器楽においては、リコーダーで基礎的な演奏力を身に付ける。鑑賞の分野では、西洋音楽史の名曲の鑑賞、ミュージカル映画の鑑賞を通して音楽に対する感性と音楽を愛好する心を育てる。また、楽典を学び、簡単なソルフェージュ練習により楽譜を読む能力を養う。</p> <p>(1) 音楽の構造や歌詞との関りについて理解し、創意工夫を生かした曲想・歌唱表現をする。【知識・技能】</p> <p>(2) 音色、リズム、テンポ等の音楽表現を知覚し、それらの働きを感受しながら、どのように演奏表現をするか、思考や表現能力を養う。【思考力・判断力・表現力】</p> <p>(3) 曲想と音楽の構造や歌詞など、文化的・歴史的な背景との関わりに関心を持ち、主体的・協働的に、表現や鑑賞する能力を養う。【主体的に学習に取り組む態度】</p>
使用教科書・ 副教材 等	教科書 ON! 1 [音楽之友社] 図解 ゼロから分かる！クラシック音楽 [世界文化社]

☆評価基準・評価方法（表現・鑑賞）

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価方法	歌唱表現並びに器楽表現については、評価基準の(ア)(イ)(ウ)について理解を深め、創意工夫を生かした表現能力を求める。鑑賞能力については、授業等における説明の理解度で、知識・技能が身に付いたか判断する。(40%)	楽曲構成、作品の時代背景や世界各国の文化の交流を知覚・感受し、自己のイメージと合わせた表現ができる能力を養う。音楽形式の要素や時代背景や国々の関連を知覚・感受した鑑賞活動ができている。(30%)	主体的・協働的に歌唱表現や器楽表現の活動に取り組もうとしている。鑑賞の学習活動も同様とする。主体的・協働的に、鑑賞の学習活動に取り組んでいる。(30%)

☆学習計画

学期	月	題材名	教材名	学習活動（評価規準）	評価方法	時数	
第1学期	4	導入	授業の進め方 (ガ'イ'ンス)	学習活動、実技表現活動の取り組み方、座席等についての指導。	観察・聴取		
	5	楽典 ①楽譜の読み方 書き方	リピート記号 拍子記号 リズムの読み方	☆音楽の基礎力育成（楽典） 学習プリント（記号や音符）の記入を通して、次の事項を身に付けている。	課題震度状況 学習プリント	2 4	
	6	歌唱	校歌 翼をください ハナミズキ	(ア) 楽譜の正しい読み方を身に付け、表現活動にいかされるようにする。 (イ) 曲種や楽曲の構成に応じた様々な発声方法について学び、それぞれにふさわしい表現になるように工夫する。	<u>(身に付けている)</u> 【知識・技能】 【歌唱実技テスト】	8	
	7	鑑賞	「世界の歌曲を歌う」 ' 0 sole mio 野ばら WhenYouWishUponaStar 少年時代 島唄 Edelwess Caro mio ben	(ウ) 楽曲の作曲家やその時代の歴史的時代背景を学び、現代の生活や文化の関わりを主体的に感受し、創意工夫をもって表現活動をしている。	<u>(表現している)</u> 【思考力・判断力・表現力】 【主体的に学習に取り組む態度】	8 6	
	【知識・技能】 ○課題実技テスト（80%） ○課題・授業プリント（20%）						
	【思考・判断・表現】 ○課題実技テスト（80%）○実習・課題レポート（20%）						
	【主体的に学習に取り組む態度】 ○実技実習（60%）○課題・授業プリント（40%）						
【1 学期の評価方法】 「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に取り組む態度」をそれぞれ実技テストや授業プリント&課題レポートを総合的に勘案・数値化し、各観点を 40% : 30% : 30% の割合で総括して 10 段階の評定を判断する。							

《2024》 音楽 I シラバス

学期	月	題材名	教材名	学習活動（評価規準）	評価方法	時数	
第2学期	8	鑑賞 ミュージカル 歌唱	「サウンド・オブ・ ミュージック」 歌謡曲	☆ミュージカルについて学び、 作品を鑑賞する。 ☆音楽の基礎力育成（楽典）	観察・聴取 課題進度状況	4 4	
	9	楽典 ①ソルフェージュ	いのちの歌 糸	J ポップ等の歌謡曲の歌唱を通し、明るく伸びやかな発声を心がける。 学習プリントの記入を通して、次の事項を身に付けている。	学習プリント <u>(身に付けている)</u> 【知識・技能】	8	
	10	器楽（歌唱） リコーダー・ アンサンブル	アーティキュレーションの練習 「シチリアーナ」 デュエット	(ア) 読譜能力を身に付け、表現活動に生かされるようにする。 (イ) 曲種や楽曲の構成に応じた様々な発声方法について学び、それぞれにふさわしい表現になるように工夫する。 (ウ) 楽曲の作曲者やその時代の歴史的時代背景を学び、現代の生活や文化の関わりを主体的に感受し、創意工夫をもって表現活動をしている。	<u>(表現している)</u> 【歌唱実技テスト】 【思考力・判断力・表現力】 【主体的に学習に取り組む態度】	8 6	
	11	鑑賞	名曲アルバムで綴る 西洋音楽史		【器楽実技テスト】	(30)	
	【知識・技能】 ○課題実技テスト（80%） ○課題・授業プリント（20%）						
	【思考・判断・表現】 ○課題実技テスト（80%）○実習・課題レポート（20%）						
	【主体的に学習に取り組む態度】 ○実技実習（60%）○課題・授業プリント（40%）						
	【2学期の評価方法】 「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に取り組む態度」をそれぞれ実技テストや授業プリント&課題レポートを総合的に勘案・数値化し、各観点を40%：30%：30%の割合で総括して10段階の評定を判断する。						
	学期	月	題材名	教材名	学習活動（評価規準）	評価方法	時数
	3学期	12	鑑賞	名曲アルバムで綴る西洋音楽史	☆音楽の基礎力育成（楽典） 歌謡曲の歌唱を通し、明るく伸びやかな発声を心がける。 学習プリントの記入を通して、次の事項を身に付けている。	観察・聴取 課題進度状況 学習プリント <u>(表現している)</u>	6
		1	歌唱	旅立ちの日に 未来へ 贈る言葉 ありがとう 時代	(ア) 読譜能力を身に付け、表現活動に生かされるようにする。 (イ) 曲種や楽曲の構成に応じた様々な発声方法について学び、それぞれにふさわしい表現になるように工夫する。 (ウ) 楽曲の作曲者やその時代の歴史的時代背景を学び、現代の生活や文化・芸術の関わりを主体的に感受し、主体的に学習理解を図ろうとしている。	【知識・技能】 【思考力・判断力・表現力】 【主体的に学習に取り組む態度】	6
2					<u>(身に付けている)</u> 【筆記テスト】	(12)	
【知識・技能】 ○課題テスト（80%） ○課題・授業への取り組み（20%）							
【思考・判断・表現】 ○課題テスト（80%）○実習・課題レポートへの取り組み（20%）							
【主体的に学習に取り組む態度】 ○実技実習（60%）○課題・授業プリントへの取り組み（40%）							
【3学期の評価方法】 「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に取り組む態度」をそれぞれ実技テストや授業プリント&課題レポートを総合的に勘案・数値化し、各観点を40%：30%：30%の割合で総括して10段階の評定を判断する。							
【年間の学習状況の評価方法】 各学期の「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に取り組む態度」をそれぞれに総合的に勘案・数値化し、年間の実技能力及び読譜能力を総合的に10段階及び5段階評定で判断する。(学期末の評定)							